



2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月2日

上場会社名 株式会社エクスマーション 上場取引所 東
コード番号 4394 URL <https://www.corporate.exmotion.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 博之
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 片山 剛志 (TEL) 03 (6420) 0019
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績(2025年12月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第3四半期	1,062	3.4	155	17.2	160	17.8	103	19.0
2025年11月期第3四半期	1,026	11.0	132	60.8	136	60.6	86	70.7

(注) 包括利益 2026年11月期第3四半期 103百万円(19.0%) 2025年11月期第3四半期 86百万円(70.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	17.05	—
2025年11月期第3四半期	14.38	14.35

(注) 当社は、2026年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期第3四半期	1,878	1,697	90.4
2025年11月期	1,857	1,669	89.9

(参考) 自己資本 2026年11月期第3四半期 1,697百万円 2025年11月期 1,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年11月期	—	5.00	—		
2026年11月期(予想)				10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2026年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2025年11月期及び2026年11月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年11月期期末については、当該株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年11月期(予想)の1株当たり期末配当金は20円、1株当たり年間配当金は25円となります。

3. 2026年11月期の連結業績予想(2025年12月1日～2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,451	4.7	204	7.7	206	6.4	133	4.5
								22.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2026年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2026年11月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年11月期3Q	6,051,000株	2025年11月期	6,051,000株
② 期末自己株式数	2026年11月期3Q	154株	2025年11月期	154株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年11月期3Q	6,050,846株	2025年11月期3Q	6,031,316株

当社は、2026年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法等)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(四半期連結損益計算書)	4
(第3四半期連結累計期間)	4
(四半期連結包括利益計算書)	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国の通商政策等の影響に加え、物価上昇や金融資本市場の変動がみられるものの、緩やかな回復基調を維持しています。先行きについては、雇用・所得環境の改善を背景とした各種政策の効果により、緩やかな回復を支えることが期待されますが、緊迫化する中東情勢や米国の通商政策の動向、海外景気の下振れ懸念など、世界情勢の変化が国内景気に与える影響を引き続き注視する必要があります。

当社グループの事業領域である組込みソフトウェア開発のコンサルティング業界におきましては、製造業をはじめとする多くの産業分野でソフトウェアの重要性が一段と高まり、高付加価値なソフトウェア開発における技術支援の需要は引き続き堅調に推移しています。あらゆるものをソフトウェアで定義するSDx化への動きが本格化するなか、生成AIを活用したソフトウェア開発手法の変革に向けた取り組みは、各企業において実用化や定着化のフェーズへと移行しつつあります。

このような環境の下、コンサルティング事業は、従来の自動車業界の顧客からの継続案件を中心に、他の産業分野からの新規顧客案件の獲得も着実に進展しました。また、生成AIの活用を前提とした開発環境の変化を牽引すべく、新たなコンサルティング支援の形態での契約を拡大させ、ビジネスモデルの変革を一段と推進しています。

「Eureka Box（ユーリカボックス）」は、リスクリング需要の高まりを背景に引き続き順調に推移しております。また、生成AIを活用した要件定義支援サービス「CoBrain（コブレイン）」も顧客数の増加を果たし、引き続き堅調の引き合いを獲得しています。さらに当第3四半期会計期間においては、新たに「Model Context Protocol（MCP）」の対応を開始するなど、生成AIを活用したソリューションの拡充を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,062,104千円（前年同期比3.4%増）、営業利益155,594千円（同17.2%増）、経常利益160,545千円（同17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益103,178千円（同19.0%増）となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,669,666千円となり、前連結会計年度末に比べ14,370千円増加いたしました。これは主に売上債権の回収に伴い売掛金及び契約資産が39,609千円減少した一方で、現金及び預金が50,592千円増加したことによるものであります。固定資産は208,896千円となり、前連結会計年度末に比べ6,393千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が8,032千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,878,562千円となり、前連結会計年度末に比べ20,763千円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は181,148千円となり、前連結会計年度末に比べ6,779千円減少いたしました。これは主に賞与引当金が47,154千円増加した一方で、買掛金が13,035千円減少したことや、未払法人税等10,092千円減少したこと及びその他に含まれる預り金が22,787千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は181,148千円となり、前連結会計年度末に比べ6,779千円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,697,413千円となり、前連結会計年度末に比べ27,542千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が103,178千円増加した一方で、剰余金の配当に伴い利益剰余金が75,635千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は90.4%（前連結会計年度末89.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年11月期の連結業績予想については、2026年1月9日の「2025年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,905	1,491,497
売掛金及び契約資産	198,500	158,890
仕掛品	81	142
貯蔵品	29	35
その他	15,779	19,099
流動資産合計	1,655,295	1,669,666
固定資産		
有形固定資産	21,747	19,590
無形固定資産		
のれん	71,583	50,108
その他	43,883	66,559
無形固定資産合計	115,466	116,667
投資その他の資産	65,289	72,637
固定資産合計	202,503	208,896
資産合計	1,857,799	1,878,562
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,700	4,664
未払法人税等	42,878	32,786
賞与引当金	—	47,154
その他	127,348	96,543
流動負債合計	187,927	181,148
負債合計	187,927	181,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,221	454,221
資本剰余金	445,221	445,221
利益剰余金	770,519	798,062
自己株式	△91	△91
株主資本合計	1,669,871	1,697,413
純資産合計	1,669,871	1,697,413
負債純資産合計	1,857,799	1,878,562

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年12月1日 至 2025年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年12月1日 至 2026年8月31日）
売上高	1,026,858	1,062,104
売上原価	602,972	594,167
売上総利益	423,885	467,936
販売費及び一般管理費	291,115	312,341
営業利益	132,769	155,594
営業外収益		
受取利息	1,741	3,904
助成金収入	1,428	989
その他	339	56
営業外収益合計	3,508	4,950
経常利益	136,278	160,545
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	136,278	160,545
法人税、住民税及び事業税	76,196	65,400
法人税等調整額	△26,645	△8,032
法人税等合計	49,551	57,367
四半期純利益	86,727	103,178
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,727	103,178

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益	86,727	103,178
四半期包括利益	86,727	103,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,727	103,178

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	10,129千円	13,591千円
のれんの償却額	21,474千円	21,474千円